

平成18年度第1回魚沼自然塾レポート

平成18年6月発行
国土交通省湯沢砂防事務所

6月17日土曜日、「登川ふれあいウォークで、つながりを発見しよう!!」をテーマに、第1回魚沼自然塾を登川流路工河川公園（南魚沼市）で開催致しました。好天に恵まれた初夏の1日、約120名のみなさまにご参加いただき、散策・トーク・ゲームなどを通して、「つながり」について考えました。



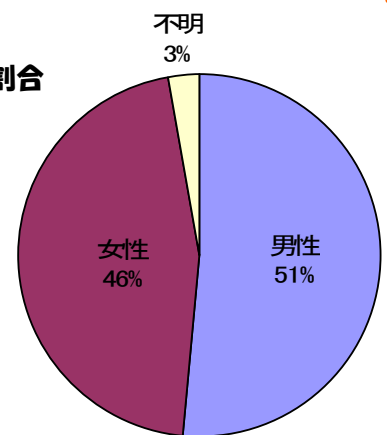
受付風景



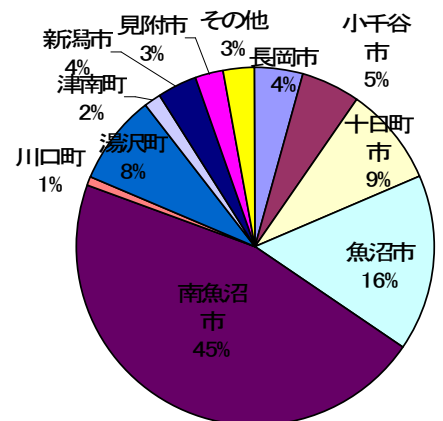
<プログラム>

- 10:00 長大橋の公園にて開会
- 10:05 ふれあいウォーク開始
(往路: 約1.6km)
- 11:15頃 滝谷橋の公園にて昼食
地元の方のお話、
ペイントバスの展示
- 12:45頃 クイズラリー開始
(復路: 約1.6km)
- 13:45頃 長大橋の公園にて土石流の模型
実験や3Dシアター、ゲーム、
クイズ正解発表
- 14:30頃 閉会・解散

参加者の性別割合



参加者の地域別割合



土石流体感
3Dシアター



土石流模型実験

開会までの待ち時間には土石流模型実験や土石流体感3Dシアターを見学していただきました。

長大橋～滝谷橋：ふれあいウォーク

今回はサイクリングロード（約1.6km）にブースを設け、地元の方とお話ししながら歩いていただき、各ブースで自然について学んでいただきました。

登川流路工まめちしき

登川流路工は昭和51年から平成10年までの22年間をかけて建設され、全長5850mという全国でも大規模な流路工です。登川流路工の周辺には、長大橋、滝谷橋、沢口橋の近辺に3箇所の公園と川沿いのサイクリングロードが整備されています。



梅雨の晴れ間。とてもいい天気恵まれ、いざ出発！！



ウォークの途中には、流路工のはたらきを説明するブースや展示ブース、休憩所などを設けました。



周辺の草花について説明して下さる自然観察指導員の高橋正明さん。



こちらは総合学習支援の紹介ブース。学習で使用している教材や報告レポートを展示しました。



地元の特産、エリンギや野菜の販売コーナーです。

<<参加者の感想～登川流路工を見て～>>

- ・ 流路工について説明してもらい役割が良く分かりました。車で通るときは何も気にしないでいたのですが、魚のことを考えているのがうれしく思います(女性/南魚沼市)
- ・ あばれ川を流路工により、美しく、安心して住めるところにしたのは感激です。(女性/津南町)
- ・ 登川流路工が地域に役立っているとのこと。メンテナンスをしても大切にして欲しい。(男性/新潟市)
- ・ 来て見て初めて流路工という言葉を知りました。大変な工事だったのだなと思いました。(女性/南魚沼市)

<<土石流模型実験・土石流体感3Dシアターの感想は？>>

- ・ 恐ろしさ、こわさ、まざまざと実感しました。(女性/南魚沼市)
- ・ 怖いと思った。回りの様子に注意を払わねばと感じました(女性/小千谷市)
- ・ どのようにして土石流が起るのか、土石流が起きないための工夫を知れてとても良かった(男性/南魚沼市)
- ・ 砂防えん堤はいっぱいになって役に立つことがわかった(男性/長岡市)
- ・ とてもためになりよく分かりました。今後の活動にいかしたいと思います(男性/長岡市)

滝谷橋の公園にて：昼食・登川ふれあいトーク

滝谷橋の公園では、昔の炊き方「ぬか釜」のご飯と地元特産のまいたけ汁で昼食です。午後は、登川に思いを寄せる5人のゲストにお越しいただき、「登川ふれあいトーク」を行いました。



昼食会場ではパネルやペイントバスの展示も行いました。



芝生の上で昼食をいただきます。「ぬか釜」ごはんについて「上田の郷」の阿部春子さんが説明。

トーク出演者（左から2人目より）

元塩沢町長の上田欽一さん・滝谷地区在住の貝瀬正好さん
魚に詳しい原田勝重さん・塩沢商工会の貝瀬久さん
上田地域ビジョン会長の関昭夫さん
一番左は司会の（FMゆきくに）山本局長

出演者のお話から

上田欽一さん：登川流域住民は災害に苦しめられ、既成同盟会の努力で流路工建設が実現しました。結果、水田が確保され、工場が立ち、地域が発展しています。今後は河川公園で交流人口の増加が期待されます。

貝瀬正好さん：子供の頃、夏はガキ大将を筆頭に下級生の面倒を見ながら暗くなるまで川で遊び、冬は冷たさに泣き出す1年生を6年生が負って雪道を登校しました。昔のことを子供達に伝える活動をしています。

原田勝重さん：昔は遊んでのどが渴いたら川の水を飲み、各家庭では川の水を引いて台所で使っていました。登川にはサクラマスがたくさんいました。将来のために、水問題に真剣な取り組みが必要だと思います。

貝瀬久さん：昭和56年の洪水を見て、向かっていく所敵なしでどこでも登る水の勢いから「登川」と名づけられたのだと思いました。滝谷地区は登川扇状地の湧水に恵まれ、地域活性化への利用も期待しています。

関昭夫さん：上田地区には21の集落がありますが、「つながりが大きいから一緒に地域づくりをしよう」と、「地域ビジョン」の取り組みを始めました。自然環境を守り、自分たちの夢マップを実現する活動をしています。



登川の昔の様子・川遊び・災害体験談・流路工建設の経緯などを聞きながら、資料を読み、アンケートに記入しています。

<<参加者の感想～登川ふれあいトークで印象に残ったことは？～>>

- ・ 水害のときの話は目に浮かぶようなわかりやすい話でした(女性/南魚沼市)
- ・ 登川での川遊びの話をして自分の子どもの頃を思い出されました。(女性/南魚沼市)
- ・ 旧塩沢町長さんの20数年にわたる登川の改修についての説明が印象に残った。(男性/魚沼市)
- ・ 水について地域の人達が大切に使い育ててきたことを感じた。(男性/小千谷市)
- ・ 水の大切さ、きれいな水=魚、自然があるから子供が育つことがよく分かった。(女性/魚沼市)

滝谷橋～長大橋：クイズラリー・ゲーム

トークの後は滝谷橋から長大橋までクイズウォークをしながら戻りました。

長大橋ではテーマにちなんで、踊りながらジャンケンでつながっていくゲームを楽しんでいただきました。登川の自然や歴史から出題したクイズは、参加者の75%が全問正解という好成績となりました。



サイクリングロードの復路では○×クイズラリーをしていただきました。全部で5問、分かるかな？



長大橋の会場に戻り、土石流模型実験やつながりゲーム、クイズの正解発表など行いました。

まとめ

第1回魚沼自然塾では、「人と自然」「人と人」「人と地域」といったさまざまな「つながり」を発見するという企画でした。参加していただいたみなさまには、ふれあいウォークやトーク、クイズラリー、ゲームなどを通じて1人1人が「つながり」を感じていただけたと思います。

活力ある地域をつくるキーワードとして、これからも「つながり」を大切にしたいものです。

<<テーマ「つながりから生まれるもの」について思ったことは？>>

- ・娘と一緒にしゃべりながら歩きましたが、たわいもない会話から自然のことまで話し合い、大切なつながり「絆」が強くなったと思いました。(女性/南魚沼市)
- ・地元の方々が自然と向かい合いながら地域を守ろうと協力していることが素晴らしい(女性/南魚沼市)
- ・水・樹木・すべてのものが循環して、人の生活に深いかかわりを持っていることを実感しました。(女性/南魚沼市)
- ・中越地震では地域のつながりの強さが大混乱から救ったとあって過言ではありません。都会では考えられない互助精神が大きな働きとしたと思っています。(男性/魚沼市)

湯沢砂防より

たいへん暑い中、ご参加ありがとうございました。

また、開催にあたって多大なご協力をいただいた大勢の地元のみなさまにも感謝いたします。

次回は大地の芸術祭が開かれる中魚沼で9月9日の開催を予定しています。自然と人のつながりについて皆様と一緒に考えたいと思いますので、どうぞご参加下さい。

お問い合わせ先：国土交通省 湯沢砂防事務所「公開講座事務局」
TEL：025-784-2073 FAX：025-784-2441
ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/